

速さこそ、王者たる所以。



三山王冠争奪戦  
MIYAMA OKUAN SOUDATSUSEN GⅢ

2023.6.29 THU / 30 FRI / 7.1 SAT / 2 SUN  
Designed by WINTICKET

前橋競輪開設73周年記念三山王冠争奪戦 GⅢ 主催 前橋市 前橋競輪場 [電話投票番号22#]

競輪は一度に楽しめよう。車券の購入は20歳になってから。



優勝者の  
高みへ、

勝者への  
高みへ、

もう一人のSS班である佐藤慎太郎は、ベテランならではの安定プレーを披露している。今年はまだ優勝には手が届いていないものの、G1戦での活躍が大きく獲得賞金ランキングは第3位(6月18日現在)に付けている。高松

欠場した。復帰戦の高松宮記念杯では東一次予選1を吉田拓の逃げに乗って3着、東一次予選2は先手を奪った眞杉匠を利して1着で青龍賞にコマを進めた。だが、青龍賞でまた落車の不運に見舞われ、以後は欠場を余儀なくされた。眞杉匠、佐々木悠葵など関東の自力型がそろっているの、落車の影響がないようなら、主役を演じる可能性も大いにあるが。眞杉は順調にきている。今年5月宇都宮記念を含め、早くも5Vを達成。高松宮記念杯でも先

行力を猛アピール。一次予選は2着、5着で勝ち星はなかったものの、しっかりと主導権を握っている。関東の先頭を任されれば強気に攻める。佐々木は地元記念Vに闘志を燃やす。昨年12月の高松記念では、関東4車連係で眞杉の逃げに乗って記念初Vを飾っている。その再現があってもおかしくないのでは。

宮記念杯でもいい仕事をしながら②①①②②着の準V。一次予選1でワンツーを決めた小松崎大地、同じく一次予選2で連独占した渡邊一成の存在も心強いし、高松宮記念杯でも目立った鋭い差し脚を発揮して首位に躍り出る場面は考えておきたい。

高松宮記念杯を①④①⑦①着で終えた深谷知広。先行はしなかったものの、最終日は上がり10秒7で一気にまくって前団を飲み込むなど自慢のスピードを遺憾なく披露した。当所は11年の高松宮記念杯で、初タイトルを獲得したゲンがいいバンクでもある。タイミングよく仕掛けられれば好勝負に持ち込める。

ダービーでは3年連続の決勝進出を果たし、準Vと気を吐いた清水裕友。その後は富山全プロ記念⑤⑦着、高松宮記念杯⑦故途欠とあまり流れは良くないが、鋭いダッシュを効かした自力攻撃は破壊力満点だ。一発には注意したい。清水にはベテラン香川雄介が続くか。ダービーで決勝進出、高松宮記念杯では白虎賞に乗るなど好調をキープしている。

開設73周年記念三山王冠争奪戦 出場予定選手										※2023年6月19日現在のデータです。									
級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	佐藤慎太郎	福島	78期	116.54	S1	川口公太郎	岐阜	98期	105.32	S2	吉永好宏	広島	80期	100.00	S2	岸澤賢太	埼玉	91期	99.62
SS	平原康多	埼玉	87期	115.62	S1	小松崎大地	福島	99期	111.21	S2	牧剛央	大分	80期	101.29	S2	河村雅章	東京	92期	99.33
SS	古性優作	大阪	100期	120.66	S1	藤井昭吾	滋賀	99期	102.39	S2	飯嶋則之	栃木	81期	99.77	S2	鈴木庸之	新潟	92期	101.54
S1	香川雄介	香川	76期	113.35	S1	恩田淳平	群馬	100期	110.00	S2	中村昌弘	広島	81期	99.93	S2	稲吉悠大	福岡	92期	100.41
S1	小林大介	群馬	79期	102.50	S1	清水裕友	山口	105期	113.30	S2	春日勇人	千葉	82期	97.05	S2	藤田勝也	和歌山	94期	103.20
S1	萩原孝之	静岡	80期	106.72	S1	原口昌平	福岡	107期	97.50	S2	藤田昌宏	岡山	82期	97.83	S2	鹿内翔	青森	95期	100.35
S1	桑原大志	山口	80期	110.04	S1	大石剣士	静岡	109期	104.92	S2	吉岡篤志	徳島	82期	93.25	S2	白上翔	滋賀	95期	92.35
S1	稲村好将	群馬	81期	101.27	S1	松本貴治	愛媛	111期	109.38	S2	高野悟郎	大分	83期	94.06	S2	相笠翔太	福島	96期	93.38
S1	濱田浩司	愛媛	81期	105.62	S1	眞杉匠	栃木	113期	114.72	S2	白岩大助	埼玉	84期	99.09	S2	東龍之介	神奈川	96期	108.00
S1	竹内智彦	宮城	84期	107.31	S1	小林泰正	群馬	113期	105.77	S2	川口直人	神奈川	84期	96.77	S2	松尾透	福岡	96期	103.14
S1	西岡正一	和歌山	84期	97.93	S1	上田堯弥	熊本	113期	101.41	S2	藤原憲征	新潟	85期	97.96	S2	根本哲史	秋田	97期	106.37
S1	吉田敏洋	愛知	85期	107.65	S1	佐々木悠葵	群馬	115期	111.87	S2	原真司	岐阜	86期	101.48	S2	中田雄喜	福島	97期	101.58
S1	井上昌己	長崎	86期	110.97	S1	岩谷拓磨	福岡	115期	108.74	S2	三ツ石康洋	徳島	86期	95.79	S2	山口智弘	愛知	99期	95.15
S1	渡邊一成	福島	88期	109.33	S1	菊池岳仁	長野	117期	105.40	S2	金成和幸	福島	88期	98.41	S2	保科千春	宮城	100期	99.04
S1	松坂洋平	神奈川	89期	106.29	S2	金子真也	群馬	69期	96.27	S2	大西健士	神奈川	88期	93.86	S2	佐藤壮	千葉	100期	103.00
S1	小川勇介	福岡	90期	111.03	S2	阪本正和	長崎	70期	97.60	S2	松山桂輔	愛知	88期	97.53	S2	小原唯志	茨城	101期	96.74
S1	天田裕輝	群馬	91期	103.60	S2	舛井幹雄	三重	71期	95.56	S2	高橋陽介	青森	89期	104.00	S2	富尾享平	大阪	101期	93.00
S1	木暮安由	群馬	92期	105.81	S2	山田雅之	岐阜	72期	94.41	S2	大塚玲	神奈川	89期	101.32	S2	谷口遼平	三重	103期	108.40
S1	坂口晃輔	三重	95期	107.48	S2	佐藤康紀	青森	73期	99.29	S2	橋本勝弘	愛媛	89期	91.96	S2	日野博幸	愛媛	103期	94.76
S1	深谷知広	静岡	96期	113.25	S2	児玉慎一郎	香川	76期	96.47	S2	吉田裕全	埼玉	90期	93.88	S2	田頭寛之	千葉	109期	94.50
S1	稲毛健太	和歌山	97期	105.47	S2	中村浩士	千葉	79期	103.88	S2	近藤隆司	千葉	90期	100.31	S2	酒井拳蔵	大阪	109期	101.21
S1	中本匠栄	熊本	97期	111.30	S2	館泰守	愛知	80期	98.79	S2	安東宏高	大分	90期	97.10	S2	嶋田誠也	福岡	109期	101.00

# プロスポーツ

前橋記念  
号外版

PROSPORTS KEIRIN WEEKLY MAGAZINE

## 宮杯覇者の古性優作が登場

前橋競輪場開設73周年記念「三山王冠争奪戦」が、6月29日〜7月2日に開催される。高松宮記念杯覇者の古性優作に、準Vの佐藤慎太郎、平原康多のSS班3名をはじめとして眞杉匠、深谷知広、清水裕友と超ド級の自力型が参戦する豪華メンバー。地元勢は佐々木悠葵、恩田淳平らが一丸となって対抗する。無風のドーム走路で繰り広げられるスピードバトルは目が離せない。

ダービーは2場所欠場し、1ヵ月半の欠場明けだった古性優作。底力を発揮して決勝には乗ったものの、動きはやや物足りなかった。だが、富山全プロ記念では初日優秀、ゴールデンリーダーを連勝。高い修正能力を示して力強い走りを披露した。そして、高松宮記念杯は西一次予選1で落車の



古性優作

アクシデントに見舞われながら底力を発揮、西一次予選2では松本秀の逃げを上がり11秒2の快速まくりで仕留めてリカバリーに成功。西二次予選、西準決も上がり11秒1、11秒3でまくり連勝し、決勝は脇本雄の番手を生かして大会連覇を達成した。気力で乗り切った地元での激闘の反動がなければ中心視は順当だ。

関東の大將格である平原康多は、4月武雄記念の準決で落車。5月はダービーをはじめ3場所

欠場した。復帰戦の高松宮記念杯



佐藤慎太郎

は5月宇都宮記念を含め、早くも5Vを達成。高松宮記念杯でも先

行力を猛アピール。一次予選は2着、5着で勝ち星はなかったものの、しっかりと主導権を握っている。関東の先頭を任されれば強気に攻める。佐々木は地元記念Vに闘志を燃やす。昨年12月の高松記念では、関東4車連係で眞杉の逃げに乗って記念初Vを飾っている。その再現があってもおかしくないのでは。

もう一人のSS班である佐藤慎太郎は、ベテランならではの安定プレーを披露している。今年はまだ優勝には手が届いていないものの、G1戦での活躍が大きく獲得賞金ランキングは第3位(6月18日現在)に付けている。高松



**佐々木 真也** (神奈川/117期)

6月向日町G3では、素晴らしい伸びを披露して3①①④着と好走。2月静岡記念に続き、今期2回目のG3決勝進出を決めた。格上相手でも立ち遅れずうまくレースの流れに乗れば一発怖い。



## 菊池 岳仁 (長野/117期)

2月奈良記念で落車した後は、なかなか調子が上がってこなかったが、富山全プロ記念の初日は河端朋、松本貴、志田龍ら相手に逃げ切り勝ち。続く6月函館の準決も先行して吉田拓の2着に粘った。



## 根本 哲吏 (秋田/97期)

4月函館で久しぶりの優勝を飾ると、5月宇都宮記念では2⑨①②着と3連対を果たしている。直近4カ月の連対率は65%と高いように動きがいいので、人気の有無にかかわらず目が離せない。



## 地元地区推奨選手

俺の出番だ!!

木暮 安由

(群馬/92期)

5月末までに5勝の数字は物足りなさを感じるが、当所は1月に参戦して **2**②**1**着。決勝は吉田有の逃げを利して地元Vを飾っている。関東勢が充実しているので上位進出のチャンス。



小林 泰正

(群馬/113期)

大きな数字も散見するが、毎場所コンスタントに勝ち星をゲットしていて動きは悪くない。自力基本の競走ながら立ち回りは機敏なので、混戦模様のレースは注意したい。



車券の購入は20歳になってから。  
競輪は適度に楽しみましょう。  
競輪とオートレースの売上の一部は、  
機械工業の振興や社会福祉等に  
役立てられています。



## 三山王冠争奪戦 出場予定選手

※2023年6月19日時点

[illegible]